

**新型コロナウイルスワクチン**

**予診**のための

**参考資料集**

2021/03/28

松江市医師会新型コロナウイルスワクチン接種検討班

## 新型コロナワクチンについての Q&A

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00222.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00222.html)

### 4. 新型コロナワクチンの安全性と副反応

Q 4－4 海外では、アレルギーのある人は接種を受けていますか。アレルギーのある人は副反応が起きやすいのですか。

米国の疾病予防管理局（CDC）は、他のワクチンや食べ物に対して、重いアレルギーのある方も、新型コロナワクチンの接種が可能としています。一方、過去に新型コロナワクチン（mRNA ワクチン）に対して、アナフィラキシーなど重いアレルギー反応を起こした方や、同ワクチンに含まれるポリエチレングリコール（PEG、※1）に対して重いアレルギー反応を起こしたことがある方への接種は推奨していません。PEG に似た構造を持つポリソルベート（※2）に対して重いアレルギー反応を起こしたことがある方への接種は、以前は禁忌とされていましたが、現在は、専門医による適切な評価と重度の過敏症発症時の十分な対応ができる体制のもとに限り考慮できるとされています（2021年3月3日時点）。

（※1、2）ポリエチレングリコールは、一般に、病院で腸内検査をする際に用いる腸管洗浄剤の主成分であり、また、飲み薬や塗り薬、目薬等の添加物としても用いられます。医薬品以外では、ヘアケア製品や歯磨き粉等の医薬部外品に用いられており、保湿等を目的として化粧品にも含まれています。また、ポリソルベートは、医薬品その他、乳化剤などの食品添加物として様々な食品に用いられています。なお、こちらに記載した製品群以外の製品にも含有されている可能性があるため、ご心配の方はご使用されている製品の成分欄をご確認いただくか、かかりつけの医師にご相談ください。但し、ポリエチレングリコールやポリソルベートを含む製品が原因でアレルギー反応を起こしても、必ずしもポリエチレングリコールまたはポリソルベートがアレルギー反応の原因とは限りません。

米国では

- ・重いアレルギー反応を起こしたことがある人や、ワクチンや注射で何らかの即時型アレルギー反応を起こしたことがある人は、ワクチン接種後少なくとも 30 分間

- ・それ以外の人は、ワクチン接種後少なくとも 15 分間

アナフィラキシーなどの有無を観察することが推奨されています。

なお、米国において、ファイザー社の新型コロナワクチン接種後に報告されたアナフィラキシーは、2021 年 1 月 18 日時点で、50 例（9,943,247 回中）で、100 万回あたり 5 例となっており、74%が接種後 15 分以内、90%が接種後 30 分以内に症状が現れています。また、80%にアレルギーの既往があり、24%にはアナフィラキシーの既往があったと報告されています。

英国では、新型コロナワクチンの接種開始当初、過去にワクチンや薬剤、食品にアナフィラキシーを起こした方には接種しないこととしていましたが、特に制限を行わない米国でのアナフィラキシーのデータを踏まえ、今は、米国同様の取扱としています。

（参考）米国 CDC の QA

（参考）米国 CDC の予防接種諮問委員会（ACIP）への副反応等報告（1 月 27 日）

（参考）英国での取り扱いの見直しについて

**Q4－5 アレルギー反応が心配されている、ポリエチレングリコール（PEG）やポリソルベートが含まれる医薬品にはどのようなものがありますか。**

日本で承認されているポリエチレングリコールを含むワクチンは、今回承認されたファイザー社製の新型コロナワクチンが初めてとなりますが、ポリエチレングリコールとの交差反応性が懸念されているポリソルベートを含んでいる既に承認されたワクチンは、複数存在します（※）。

（※）沈降 13 価肺炎球菌結合型ワクチン（プレベナー13）、インフルエンザ HA ワクチン「第一三共」、組換え沈降 4 価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン（ガーダシル）、乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン（エンセバック）、5 価経口弱毒生ロタウイルスワクチン（ロタテック）、不活化ポリオワクチン（イモバックス）など。

また、前述の通り、ポリエチレングリコールは大腸内視鏡検査時に下剤として使用する医薬品をはじめ、様々な医薬品に添加剤として含まれており、ポリソルベートも同様に複数の医薬品に含まれています。なお、ポリエチレングリコールは「マクロゴール」という名称で呼ばれることもあります。

医薬品に含有されている添加剤は、各々の医薬品の添付文書で確認することができます。添付文書は医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページで検索することが可能です。

#### <検索方法>

1. PMDA ホームページの上部に「添付文書等検索」の欄がありますので、医師から処方された薬を検索したい場合は「医療用医薬品」を、薬局で購入した薬（OTC）を検索したい場合は「一般用・要指導医薬品」をクリックしてください。

2. ある医薬品に含まれる添加剤を調べたい場合、画面左上にある「医薬品の名称」欄に薬の名前を入力すると、該当する医薬品の添付文書が閲覧できます。「医療用医薬品」の場合は「添加剤」の項目に、「一般用・要指導医薬品」の場合は「添加物」の項目に、含まれる添加剤（物）一覧が記載されています。

3. ある添加剤（物）を含む医薬品を検索したい場合、「医療用医薬品」については、検索画面の左下にある「項目内検索」から「組成」を選択し、検索したい添加剤名（例：「ポリエチレングリコール」、「PEG」、「ポリソルベート」等）を入力の上、「検索」ボタンを押してください。「一般用・要指導医薬品」の場合、「添加物名」の欄に入力の上、「検索」ボタンを押してください。

一方、ポリエチレングリコールは化粧品にも含まれていることがあります。化粧品については、含まれている成分が製品に表示されています。

**Q4-7 過去にアレルギー反応やアナフィラキシーを起こしたことがあります、今回も起こすのではないかと心配なのですが、接種を受けても大丈夫でしょうか。**

食物アレルギー、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、アレルギー体質などがあるといった理由だけで、接種を受けられないわけではありません。また、接種するワクチンの成分に関係のないものに対するアレルギーを持つ方も接種は可能です。ただし、これまでに、薬や食品など何らかの物質で、アナフィラキシーなどを含む、重いアレルギー反応を起こしたことがある方は、接種直後に調子が悪くなったときに速やかに対応ができるよう、接種後、通常より長く（30 分間）、接種会場で待機していただきます。

過去にアレルギー反応やアナフィラキシーを起こしたことがある方は、予診票にご記入いただくとともに、原因の医薬品等やその時の状況をできるだけ詳しく医師にお伝えください。アレルギーについて医療機関にかかっている場合には、接種の可否について事前に相談してください。

**Q 4－8 ワクチンを受けた後に熱が出たら、どうすれば良いですか。**

ワクチンによる発熱は接種後 1～2 日以内に起こることが多く、必要な場合は解熱鎮痛剤を服用いただくなどして、様子を見ていただくことになります。このほか、ワクチン接種後に比較的起きやすい症状としては、頭痛、疲労、筋肉痛、悪寒（さむけ）、関節痛などがあります。

ワクチンによる発熱か、新型コロナウイルス感染症かを見分けるには、発熱以外に、咳や咽頭痛、味覚・嗅覚の消失、息切れ等の症状がないかどうか、手がかりとなります。（ワクチンによる発熱では、通常、これらの症状はみられません。）

ワクチンを受けた後、2 日以上熱が続く場合や、症状が重い場合、ワクチンでは起こりにくい上記の症状がみられる場合には、医療機関等への受診や相談をご検討ください。

**Q 4－9 ワクチンを受けた後の発熱や痛みに対し、市販の解熱鎮痛薬を飲んでもよいですか。**

ワクチンを受けた後の発熱や痛みに対し、市販の解熱鎮痛薬で対応いただくことも考えられますが、特に下記のような場合は、主治医や薬剤師にご相談ください。

- ・他のお薬を内服している場合や、病気治療中の場合
- ・激しい痛みや高熱など、症状が重い場合や、症状が長く続いている場合
- ・ワクチン接種後としては典型的でない症状がみられる場合（ワクチン接種後に起こりやすい症状や起こりにくい症状については、Q 4－8をご覧ください。）

なお、ワクチンを受けた後、症状が出る前に、解熱鎮痛薬を予防的に繰り返し内服することについては、現在のところ推奨されていません。

参考：米国 CDC の mRNA ワクチン使用に関する暫定的見解（英語）



## 5. 接種の対象者や優先順位について

### Q 5－1 ワクチンを受けられないのはどのような人ですか。

一般に、以下の方は、ワクチンを受けることができません。ご自身が当てはまると思われる方は、ワクチンを受けても良いか、かかりつけ医にご相談ください。

- ・明らかに発熱している方（※1）
- ・重い急性疾患にかかっている方
- ・ワクチンの成分に対し、アナフィラキシーなど重度の過敏症（※2）の既往歴のある方
- ・上記以外で、予防接種を受けることが不適當な状態にある方

（※1）明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

（※2）アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

**Q 5－2 ワクチンを受けるのに注意が必要なのはどのような人  
ですか。**

一般に、以下の方は、ワクチンを受けるに当たって注意が必要です。ご自身が当てはまると思われる方は、ワクチンを受けても良いか、かかりつけ医にご相談ください。

- ・過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ・心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある方
- ・過去に予防接種を受けて、接種後 2 日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた方
- ・過去にけいれんを起こしたことがある方
- ・ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある方

また、新型コロナワクチンは筋肉内に注射することから、

- ・抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある方は、接種後の出血に注意が必要とされています。

### Q5-3 妊娠中や授乳中の人は、ワクチンを受けることができますか。

妊娠中、授乳中の方も、新型コロナワクチンを受けることができます。

ただし、妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、海外の実使用経験などから現時点で特段の懸念が認められているわけではありませんが、安全性に関するデータが限られていることから、接種のメリットとデメリットをよく検討して接種を判断していただくこととしています。

なお、日本産婦人科感染症学会・産婦人科学会からは、「感染リスクが高い医療従事者、重症化リスクがある可能性がある肥満や糖尿病など基礎疾患を合併している方は、ワクチン接種を考慮する」と提言されています。

また、授乳中の女性については、現時点で特段の懸念が認められているわけではなく、海外でも接種の対象とされています。ワクチンを受けるかお悩みの方は、主治医とご相談ください。海外の動向などについては、こちらへ。

(※) 3月1日に、米国疾病予防管理センター(CDC)の予防接種諮問委員会(ACIP)にて、新型コロナワクチンの妊婦への安全性について、米国の最新情報が発表されました。

2月16日までのデータで、少なくとも1回以上同ワクチンを接種した妊婦は3万人を超えており(※※)、局所反応や全身反応について、妊娠されている方と妊娠されていない方の間で大きな差はなかったこと、流産等の妊娠に特有の問題については自然発生率(新型コロナウイルスワクチンが導入される前に起きていた頻度)と比較して大きな差異はなかったこと等が報告されています。

(※※ V-safe という、SNS を利用したワクチン接種後の安全性調査に登録して接種した妊婦の数。)

現在、ファイザー社等は妊婦を対象とした新型コロナワクチンの臨床試験を海外で実施しています。

参考：2021年3月1日開催のACIPレポートより抜粋(日本語版作成)

(出典 COVID-19 vaccine safety update, Advisory Committee on Immunization Practices (ACIP) March 1, 2021)

**Q 5－4 新型コロナウイルスに感染したことがある人は、ワクチンを受けることはできますか。**

既にコロナウイルスに感染した人も、新型コロナワクチンを受けることができます。

ただし、接種まで一定の期間をおく必要がある場合がありますので、いつから接種できるか不明な場合は、主治医にご確認ください。

なお、事前に感染したかどうかを検査して確認する必要はありません。

(※) 米国 CDC からは以下のような見解が示されています。

- ・ 隔離を中止するための基準が満たされるまで延期する必要がある。
- ・ 新型コロナウイルス再感染のリスクは感染後の最初数か月では低く、免疫力の低下により時間とともに増加する可能性があることが示唆されていることから、最近新型コロナウイルス感染症に罹患した人は、必要に応じてワクチン接種を一時的に遅らせることを選択できる。
- ・ 加えて、モノクローナル抗体または回復期血漿での治療を受けた場合は、治療から少なくとも 90 日以降にワクチンを接種することが勧められる。

**Q 5－5 持病があり、薬を飲んでいる人はワクチンを受けることはできますか。**

薬を飲んでいるために、ワクチンが受けられないということはありませんが、基礎疾患のある方では、免疫不全のある方や病状が重い方など、接種を慎重に検討した方がよい場合がありますので、かかりつけ医にご相談ください。

ただし、抗凝固薬（いわゆる「血をサラサラにする薬」の一部です）を飲んでいる方は、ワクチンを受けた後、2分以上しっかり押さえてください。ご自身が飲んでいる薬が抗凝固薬に当てはまるかどうか不明な方は、かかりつけ医などにご確認いただくか、別紙の資料をご覧ください。



[https://covnavi.jp/category/faq\\_medical/](https://covnavi.jp/category/faq_medical/)

## ワクチンQ&A：医療従事者の方へ

**Q** 新型コロナウイルスワクチンでADE（抗体依存性増強現象、Antibody-dependent enhancement）が起こりますか？ **+**

**A** ADEは、自然感染やワクチンによって体内に作られた中和能のない抗体が、ウイルスが人の細胞に入りこむのを助け、ウイルスの感染による症状を悪化させてしまう現象です。これはデング熱ワクチン等で報告されました<sup>1)</sup>。また免疫複合体等が気道で強い炎症を引き起こすこともあります（ワクチン関連増強呼吸器疾患 Vaccine-associated enhanced respiratory disease;VAERD）。

ワクチン開発では、ADEやVAERDが起こらないように、高い中和能がある抗体を作らせ、そしてTh1細胞優位の免疫反応を誘導するワクチンの開発が大切とされます。ファイザー・ビオンテック社ワクチン、モデルナ社ワクチン、オックスフォード・アストラゼネカ社ワクチン全てにおいて、誘導される抗体は高い中和能を持つことが分かっています。また、Th1優位の免疫が誘導されることも分かっています。第2/3相の臨床試験ではADEを起こした被験者はいませんでした<sup>2-3)</sup>。重症患者も殆どがワクチン群ではなくプラセボ群で発生しています。VAERDはmRNAワクチン接種後の動物実験でも観察されていません<sup>4-5)</sup>。こういったことから、新型コロナウイルスのワクチンにおいてADEが懸念されることは現状ではとても考えにくいと言えます。

1. *N Engl J Med.* 2018;379:327-40

2. *N Engl J Med.* 2020;383:2603-2615

3. *N Engl J Med.* 2021;384:403-416

4. *N Engl J Med.* 2020;383:1544-1555

5. *bioRxiv.* A prefusion SARS-CoV-2 spike RNA vaccine is highly immunogenic and prevents lung infection in non-human primates

Q

花粉症や食物アレルギーの既往があります。mRNAワクチンを接種して大丈夫ですか？

+

A

米国CDCはワクチンや注射薬以外の物（食べ物、動物、ラテックス等）に対する重症なアレルギー反応の既往がある方も接種可能としています<sup>1)</sup>。経口薬へのアナフィラキシーの家族歴がある方への接種も可能です。

米国CDCは、ワクチンの成分に対するアレルギー（アナフィラキシーに限定しない）の既往がある方への接種は禁忌としています<sup>1)</sup>。よって、mRNAワクチンの第一回目の接種直後にアレルギー反応が出た方は二回目の接種を控えることになります。また、アナフィラキシーの原因として最も疑われているのはポリエチレングリコール（PEG）という物質です。PEGにはたくさんの種類があり、大腸検査の下剤や薬剤、日用品等に幅広く使われています。PEGアレルギーはかなり稀であり、事前にアレルギーがあることがわかっている人、というのはほとんどいないと思われます。（上記はCDCによる2021年3月4日時点における推奨事項です）

日本では、「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな者」は接種不適当者となっています<sup>2)</sup>。ワクチン接種後少なくとも 15 分間は観察されることになります。今回のワクチン以外のものに対し過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を引き起こしたことがある方は、接種後 30 分程度観察されることが推奨されています。

### 接種が可能

- ・花粉症
- ・喘息
- ・アレルギー性鼻炎
- ・mRNAワクチンの成分以外  
のものに対するアレルギー歴がある方  
(薬、食べ物、ペット、虫、ラテックスなど)

→ アナフィラキシーをおこしたことがある人は接種後 30分 待機  
それ以外の人は 15分 待機

以下の場合には接種を考慮してよい

- ・授乳中
- ・妊娠中
- ・免疫不全のある患者
- いずれも接種後 15分 待機

### 注意が必要

- ・中等度から重度の  
急性期疾患のある人
- ・別のワクチンや注射薬に対して  
即時型アレルギー反応  
(アナフィラキシーなど)を  
起こしたことがある人

→ ワクチン接種を取りやめるか  
専門医に相談  
→ 接種する場合、接種後  
30分間 経過観察

### 接種不可（禁忌）

- ・1回目のmRNAワクチン接種で  
重度のアレルギー反応（アナ  
フィラキシーなど）の出た人
- ・mRNAワクチンの成分  
(PEGを含む)  
に対して即時型アレルギー反応  
があった人

COV-  
ID-19  
Navi

米国CDCより (<https://www.cdc.gov/vaccines/covid-19/info-by-product/clinical-considerations.html>)

1. CDC. COVID-19 Vaccines and Allergic Reactions
2. 新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き





## 免疫不全やHIV陽性の方にmRNAワクチンを接種しても大丈夫でしょうか？



HIVに感染している方や、他の免疫不全の患者に対するワクチンの有効性や安全性は、まだ十分明らかになってはいません。しかし米国CDCは、現在承認されているワクチンは生ワクチンではないため、原理的にワクチン接種で感染することは考えられず、免疫不全の方でも安全に投与できるとしています。一方で、そのような方はワクチン接種を行っても十分な抗体が産生されず、健康人に比較して有効性が低いことが懸念されます。しかし、HIVに感染している方や他の免疫不全の患者は新型コロナウイルスに感染すると重症化する可能性が高く、接種を検討する妥当性が十分あると考えられます。

免疫抑制剤を新たに開始予定の方がコロナワクチンをいつ接種すべきかは、まだ分かっていません。他のワクチンでの推奨事項からは、コロナワクチン接種後2週間待ってから新たな免疫抑制剤を使用した方がいいのではないかと推測されています。米国CDCは2週間待つことができず、免疫抑制剤を使用中の場合もコロナワクチンを接種できるとしています。また、免疫不全の方へのコロナワクチン接種に関しては、安全性や有効性がまだ十分明らかになっていないことと、免疫がつきにくい可能性、そして接種後も感染対策を続ける必要があるということを十分説明されるべきだとしています。個々の患者におけるリスクとベネフィットを十分説明した上で、接種を検討して頂く必要があります<sup>2)</sup>。免疫抑制剤を使用中の臓器移植患者では、mRNAワクチン1回接種後の抗体の誘導が若干弱くなる傾向があると報告されていますが<sup>3)</sup>、まだデータは不十分であり、免疫抑制状態の方に対するワクチン接種の効果は今後の研究で明らかになると期待されます。

1. CDC. Interim Clinical Considerations for Use of mRNA COVID-19 Vaccines Currently Authorized in the United States
2. 日本リウマチ学会. 新型コロナウイルス (COVID-19) ワクチンについて
3. JAMA. doi:10.1001/jama.2021.4385





## 自己免疫性疾患の方にmRNAワクチンを接種しても大丈夫でしょうか？



米国CDCは、自己免疫疾患の方におけるワクチンの安全性・有効性のデータは無いものの、自己免疫疾患患者でもmRNAワクチンの接種は可能としています<sup>1)</sup>。米国リウマチ学会は、リウマチ性疾患や自己免疫・炎症性疾患の患者は、COVID-19発症時の重症化リスクが高いため、基本的にワクチン接種を推奨しています<sup>2)</sup>。

1. [CDC. Interim Clinical Considerations for Use of mRNA COVID-19 Vaccines Currently Authorized in the United States](#)
2. [ACR COVID-19 Vaccine Guidance Recommends Vaccination, Addresses Immunosuppressant Drugs & Patient Concerns](#)



担がん患者にもmRNAワクチンを接種しても大丈夫でしょうか？



担がん患者におけるmRNAワクチンの有効性や安全性に関するデータは限定的です<sup>1, 2)</sup>。生ワクチンではないため、基本的には他のワクチンと同様の扱いでよいと考えられます。抗がん剤の治療の影響で、ワクチンによる免疫応答（B細胞やT細胞の応答、B細胞による抗体産生能）が不完全となる可能性があります。そのため、接種後も感染対策を徹底し続ける必要があります。

一般的に、担がん患者がワクチンを受けられなかったり、その有効性がはっきりしない場合、周りの家族がワクチンを接種して感染を防ぐことにより、重症化リスクの高い担がん患者・高齢者・免疫抑制患者への感染を防ぐ効果があるとされています。mRNAワクチンに同様の効果があるかはまだ分かっていませんが、その効果が強く期待されます。

1. CDC. [Interim Clinical Considerations for Use of mRNA COVID-19 Vaccines Currently Authorized in the United States](#)
2. IDSA. [Vaccines FAQ](#)

**Q**

これから妊娠を考えている女性にmRNAワクチンを接種しても大丈夫でしょうか？

**+****A**

米国CDCは、mRNAワクチン接種の前に妊娠検査を行うことや、ワクチンのために妊娠を遅らせる必要はないとしています<sup>1)</sup>。米国家庭医療学会は、mRNAワクチンは不妊とは関連がないとしています。以前ファイザーに勤めていた研究者が、ワクチン接種で女性の不妊になる可能性があるのではないかと主張しインターネット上で拡散されました。ワクチンによって体の中で作られるスパイクタンパク質（新型コロナウイルスの表面の突起物）に対する抗体が、胎盤にあるシンシチン-1というタンパク質にも反応してしまう可能性があるという主張でしたが、実際にはこれらのタンパク質はほとんど全く似ていないため、ワクチンによってできる抗体が胎盤を攻撃することはないと考えられています。実際にファイザー・ビオンテック社やモデルナ社のワクチンを接種した女性がその後、妊娠していることも報告されています。以上より、mRNAワクチンによって不妊が起こるという情報は科学的根拠が全くない誤った情報です。

1. CDC. [Vaccination Considerations for People who are Pregnant or Breastfeeding](#)  
American Academy of Family Physicians. [COVID-19 VACCINE FAQ](#)



## 妊娠中の女性にmRNAワクチンを接種しても大丈夫でしょうか？



妊娠中の女性に対するmRNAワクチンの安全性や有効性はまだ十分に評価されていませんが、米国などでは希望者は接種が可能です<sup>1)</sup>。米国CDCは「現在の知見から、専門家は緊急下承認されている新型コロナウイルスワクチンは、妊娠中の女性や胎児に危険を及ぼすことはないだろうと考えている」とし、妊婦で感染のリスクが高いグループに所属する方（医療従事者等）に接種の機会が与えられるべきだとしています。WHOも、リスクの高いグループに属する妊婦へのワクチン接種を考慮してよいとしています<sup>2)</sup>。妊婦は妊娠していない同世代の女性と比較し、新型コロナウイルスに感染した場合に重症化しやすく、また早産等のリスクが上がることが主な理由です。接種を行う場合には、発熱等の副反応が起こり得ることも十分な説明を行うことが大切です。米国ではv-safeという副反応モニタリングシステムに3万人以上の新型コロナウイルスワクチンを接種した妊婦が登録し、妊婦の追跡調査がされていますが、ワクチンを打っていない人と比べ、妊娠の合併症の頻度は変わらず、安全性の懸念はないとしています<sup>3)</sup>。

日本産婦人科感染症学会は「流行拡大の現状を踏まえて、妊婦をワクチン接種対象から除外することはしない」としています<sup>4)</sup>。日本では、妊婦は努力義務からは除外されましたが、接種対象であれば（2021年3月時点では医療従事者であれば）接種をすることができます。

1. CDC. [Interim Clinical Considerations for Use of mRNA COVID-19 Vaccines Currently Authorized in the United States](#)
2. WHO. [The Moderna COVID-19 \(mRNA-1273\) vaccine: what you need to know](#)
3. [COVID-19 Vaccine Safety Update, Advisory Committee on Immunization Practices \(ACIP\) February 28, 2021](#)
4. 日本産婦人科感染症学会. [COVID-19 ワクチン接種を考慮する妊婦さんならびに妊娠を希望する方](#)  
△



授乳中の女性にmRNAワクチンを接種しても大丈夫でしょうか？



授乳中の女性に対する十分なデータはまだありませんが、米国CDCは優先接種対象者にあたる授乳中の女性はmRNAワクチンの接種を考慮してよいとしています<sup>1)</sup>。mRNAワクチンの成分は乳腺組織や母乳中に移行する（出てくる）とは考えにくく、もし移行しても乳児に生物学的な影響を与える可能性は低いと考えられています<sup>2)</sup>。

1. CDC. [Vaccination Considerations for People who are Pregnant or Breastfeeding](#)
2. Academy of Breastfeeding Medicine. [Considerations for COVID-19 vaccination in lactation. ABM Statement.](#)





## 新型コロナウイルスに感染した場合（既感染の場合）も接種が必要ですか？



症状のない（無症候性の）感染も含め、新型コロナウイルスに罹患された方（既感染者）にもワクチンの接種が推奨されます<sup>1)</sup>。その理由は、再感染の可能性があることと、自然に感染するよりもワクチン接種の方が効果的な免疫が獲得出来ると考えられているからです（自然感染の場合、特に無症状や軽症の場合、重症患者と比べ免疫応答が劣るとの報告があります<sup>2)</sup>）。既感染者で2回接種が必要かは、現在研究されているところであり、現在のところ、日本では通常通りの2回接種の方針です。

なお、直前に感染した場合には感染から回復し、隔離の必要がなくなっからの接種が勧められています<sup>1)</sup>。新型コロナウイルス回復期血漿療法やモノクローナル抗体治療を受けた方は、罹患後90日経過してから接種が勧められています。

1. CDC. [Interim Clinical Considerations for Use of mRNA COVID-19 Vaccines Currently Authorized in the United States](#)
2. IDSA. [Vaccines FAQ](#)

**Q**

今回のメッセージRNAワクチンは、特に2回目で、頭痛、関節痛、発熱などが出やすいとききます。こうした副反応を軽減するために、接種前に解熱鎮痛剤などを使用しても良いでしょうか。

**+****A**

ワクチンを打つ前に予防的に解熱鎮痛剤を服用するのはお勧めできません。接種前の服用が予防接種の効果に影響を及ぼすことがないか、まだ分かっていないからです。

動物実験のレベルですので、実際のワクチンの効果に影響があるかは分かりませんが、事前に7日間NSAIDs（meloxicam）を使用したマウスは、反応でできてくる中和抗体の量が低めだったという結果があります。

なお、持病があり、もともと解熱鎮痛剤を常用している方は、もちろん継続して構いません。

1. Lancet. 2009 Oct 17;374(9698):1339-50.
2. Virol. 2021 Jan 13;JVI.00014-21.